

科 目	現代の国語	学年・類型	1 年 普通科・国際文理科	単位数	2
教科書	現代の国語 大修館書店				
副教材等	「頻出 入試漢字コア2800 改訂版」(桐原書店) 「新訂 国語図説 六訂版」(京都書房)				
学習目標	1 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 2 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広めたり深めたりすることができるようにする。 3 読書に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。				
学習心得	1 辞書等を使い、予習を行って授業に臨む。 2 文章の言葉を正確にとらえ、伝えようとする内容を把握できるようにする。 3 文章を読んで、自分の考えと比較対照する。 4 言葉を使って、自分の考えを表現しようとする。				
	単 元	主 な 学 習 活 動			
一学期	1 明日をひらく 考える技術—考えさせない時代に抗して 2 要点をつかむ 水の東西 3 論理をとらえる 自然と人間の関係をとらえて考える 4 的確に伝える 設計図を最初に渡せ！	・文章の基本的な流れをつかみ、筆者の視点・考え方を理解する。 ・「考えること」と「論理」の関係を的確につかむ。 ・二項対立的な評論の読解方法を習得する。 ・論の筋道に従って筆者の主張を理解する。 ・演繹・帰納に着目して主張と根拠、理由付けの関係をとらえる。 ・伝えたいことを確実に伝えるために、情報伝達の構成のポイントを理解する。			
二学期	5 資料を駆使する 「安くておいしい国」の限界 6 他者と交流する 他者を理解すること 7 情報を比較する 空気を読む 「個人」から「分人」へ 8 他者を動かす 資料を用いて発表する	・統計資料を正確に読み取る。 ・統計資料を組み合わせて比較したりして、それを根拠に自分の主張を行う。 ・相手に自分が望む行動を促すための、効果的な表現や手段について考え、それを活用する。 ・複数の文章や資料を読み比べ、共通点や相違点を比較しつつ筆者の主張を読み解く。 ・例示や対比などの表現に注目し、文章構成を理解する。 ・プレゼンテーションに説得力を持たせるために、資料を活用した構成を工夫する。			
三学期	9 主張を吟味する 贅沢を取り戻す 10 考えを発信する 白	・他者の主張の妥当性や信頼性の吟味の仕方を理解する。 ・「贅沢」と「浪費」の意味を問い直し、自らが現代の消費社会をいかに生きるべきかについて論じる。 ・自ら問いを立て、様々な文章を主体的に読むことによって、自らの見解を作り上げ、それを外部に向けて発信する。			

評 価 の 観 点 及 び 内 容		評 価 方 法
知識・技能	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けようとしている。	・授業中の取組 ・確認テスト
思考・判断・表現	論理的、批判的に考える力や創造的に考える力、伝え合う力を高めようとしている。	・ワークシートの課題 ・確認テスト
主体的に学習に取り組む態度	言葉が持つ価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	・授業中の取組 ・ワークシートの課題